

各位

株式会社ビックカメラ

ビックカメラが 「健康経営優良法人 2026（ホワイト 500）」に4年連続認定

株式会社ビックカメラ（本社：東京都豊島区、代表取締役社長 秋保 徹）は、経済産業省が進める「健康経営優良法人認定制度」において、「健康経営優良法人 2026（大規模法人部門）」及び、認定企業の上位 500 法人に与えられる「ホワイト 500」に4年連続で、通算7回目の認定を受けました。

当社は、「“お客様喜ばせ業”をつなぎ、期待を超える”をパーパスとし、時代の変化に対応したサービスの創出に邁進しております。その主体となるのが、当社で働く人財です。

従業員一人ひとりの多様な能力と主体性を尊重し、個々の成長が企業成長の源泉となるよう、環境づくりに力を入れております。

従業員が活気にあふれ、生き生きと力を発揮できる基盤として、従業員が心身ともに健康であることは不可欠であり、会社としてこれを支えることは重要な責務であると考えております。

健康経営に関する活動の方針として、当社で活躍する専門人財やサービスを、お客様のみならず従業員の健康増進にも活かすことにこだわっております。

具体的には、女性特有の健康課題に関する啓発セミナーや日常のコンディション向上を目的とした睡眠マネジメント研修は、各種資格を保有している当社店舗販売員や仕入れ担当者自ら、企画・実行をしております。

さらに、仕入れ担当者が厳選した健康の維持・増進に役立つ商品の購入に対する会社補助や、女子ソフトボール高崎が主導する従業員のスポーツ活動支援など、当社従業員がそれぞれの専門性を活かしながら、主体的に健康づくりに取り組んでおります。

また、当社ではグループ全体においても健康経営を推進しており、従業員満足度調査やストレスチェック、ウェルネスサーベイを活用し、従業員の心身の充実度をフィジカル・メンタル・エンゲージメントの観点から数値化しております。これらの結果をもとに定期的な効果検証と社内はもちろん、グループ内でも共有を行った上で課題を抽出し、各社ノウハウを吸収し合いながら経営戦略や施策へと反映しております。

今後も、健康経営を重要な柱とし、従業員が心身ともに健やかに働き続けられる職場を提供することにより、企業全体の労働生産性（パフォーマンスの最大化）と従業員エンゲージメントの向上を目指してまいります。

健康経営優良法人とは

地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度を「健康経営優良法人認定制度」といい、認定基準を満たすことで、日本健康会議より「健康経営優良法人」に認定されます。

健康経営に取り組む優良な法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として社会的に評価を受けることができる環境を整備することを目標としています。



※健康経営は、NPO 法人健康経営研究会の登録商標です。

以上